令和２年度(2020)

山形 小説家・ライター講座

第５回 鶴岡出張講座

講師 井上 荒野氏
直木賞作家

※今回、井上氏はオンラインによるリモート形式での登場となります

講師兼司会 池上冬樹氏
文芸評論家・東北芸術工科大学教授

第１部 講 評
（提出された作品の講評を行います）

第２部 トークショー

profile

1961 年東京都生まれ、1989 年「わたしのヌレエフ」で第一回フェミナ賞を受賞。2004 年『潤一』で第 11 回島清恋愛文学賞を受賞。2008 年『切羽へ』で第 139 回直木賞を受賞。2011 年『そこへ行くな』で第 6 回中央公論文芸賞を受賞。2016 年『赤へ』で第 29 回柴田錬三郎賞を受賞。2018 年『その話は今日はやめておきましょう』で第 35 回織田作之助賞を受賞。
その他の著書に『ほろびぬ姫』、『リストランテ　アモーレ』、『綴られる愛人』、『ママがやった』、『あちらにいる鬼』、『あたしたち、海へ』、『よその島』、『そこにはいない男たちについて』など。また、『つやのよる』、『結婚』、『だれかの木琴』など映像化作品多数。最新刊は 10 月に祥伝社より刊行された『ママナラナイ』となる。

日 時　令和 3年3月7日(日)
午後 2時～4時頃

会 場　にこ♥ふる 3階会議室
鶴岡市泉町5-30
TEL 0235-25-2731

- 先　着／75名様
- 受講料／500円

高校生以下 無料

受付は1月26日(火)午前9時30分より開始します

図書館本館に直接、または電話にて申し込みください。
なお、受講料は当日にいただきます。
詳しくは鶴岡市立図書館本館までお問い合わせください。

◆ 主催／鶴岡市立図書館　◆ 問合せ／鶴岡市家中新町 14-7　TEL 0235-25-2525

「山形 小説家・ライター講座」とは・・・

本講座は、平成９年（2007）４月、直木賞作家である高橋義夫先生を講師としてスタート。その後、山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼世話役を引き受け、現在までたくさんの受講生とともに歩んできた“真剣かつカジュアル”がモットーの、有志による愉快な自主運営の文学講座で、毎月１回、遊学館（山形市緑町一丁目 2-36　山形県立図書館併設）にて開催しております。第一線で活躍中の作家や評論家の方を講師としてお招きし、受講生が提出する短編作品（毎回３～５本）をテキストにして、講評ならびにトークショーを行っています。

小説・エッセイ・詩・短歌など文章を書くことが好きな人はもちろん、書かないけれど、本を読むことが好きな人も歓迎しています。

今回の講座で取りあげる作品（小説・エッセイ）を募集します!!

提出方法

○テキストの長さは原稿用紙 80 枚以内。テキストにはあらすじ（400 ～ 600 字程度）も添付してください。
○テキストを提出できるのは、当日講座に参加できる方のみとなります。
○提出されたテキストは、池上冬樹氏が講師との相性などを考慮し決定します。（当日取り上げる作品は３本程度と考えております。提出数が多い時は、テキストとして採用を見送る場合があります。ご了承ください）
○テキストは文書作成ソフト「word」にて読みやすい形（Ａ４横、40×30 字程度の縦書き）で作成し、下記アドレスにメール添付にて、または鶴岡市立図書館カウンター窓口にデータを提出してください。（ＣＤ・ＤＶＤにてお願いします。ＵＳＢメモリ等での提出は、セキュリティの点からご遠慮願います）なお、緊急の連絡先の電話番号も明記してください。
○テキスト提出の締め切りは、２月 21 日です。

テキストの提出先
sakka.naro@r7.dion.ne.jp または、
library@city.tsuruoka.yamagata.jp
※表題に「出張講座用テキスト」と明記してください。

テキストの事前配布

○参加申し込みいただいた方には、２月 27 日より、鶴岡市立図書館カウンター窓口にて配布します。
○なお、当日、会場でも配布します。

当日の講座風景

出張講座、これまでのあゆみ

第１回　平成 28 年９月 17 日 ㊏
講師：三浦しをん 氏（直木賞作家）
作品応募点数：９点

第２回　平成 29 年９月９日 ㊏
講師：角田　光代 氏（直木賞作家）
応募点数：１３点

第３回　平成 30 年７月７日 ㊏
講師：村田沙耶香 氏（芥川賞作家）
応募点数：７点

第４回　令和元年８月３１日 ㊏
講師：中島　京子 氏（直木賞作家）
応募点数：７点